

関西広域産業共創プラットフォーム

News Letter

Vol. 27

2025(令和7)年
11月末発行

●関西広域リージョン連携宣言を行いました！

関西広域連合は、府県域を超えた官民での取り組みを加速させることを目的として、令和7年10月23日に、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、公益社団法人関西経済連合会、一般財団法人関西観光本部、関西MaaS協議会と関西広域リージョン連携宣言※を行いました。

宣言の中では、関西広域リージョンにおいて取り組むことを想定する分野として、「公設試験研究機関と多様な機関が連携したシームレスな事業化等の企業支援」が挙げられています。

※広域リージョン連携

都道府県域を超えた広域的な単位で、地方公共団体と経済団体や企業、大学、研究機関等の多様な主体により構成される枠組みの下、広域リージョンに参画する各主体が、共同で広域リージョン連携宣言を行い、その目指すべき姿を共有した上で、地域の成長やイノベーションの創出につながる複数のプロジェクトに連携して取り組む。令和7年9月2日に、国が「広域リージョン連携推進要綱」を制定。



(参考URL) 関西広域連合HPより

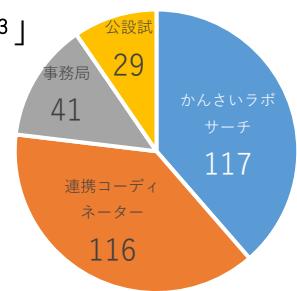
<https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/jisijimu/bunken/region/10776.html>

●関西広域産業共創プラットフォーム（PF）相談案件が300件を超えました！

PF発足以降、3年間で累計303件の企業相談が寄せられました。対応後のアンケート調査によりますと、アンケートにご協力いただいたご相談者様のうち90%※1の方から満足したとの声を頂いております。

※1 大変満足 = 54%、満足 = 36%、普通 = 9%、不満 = 1%

相談経由者 内訳

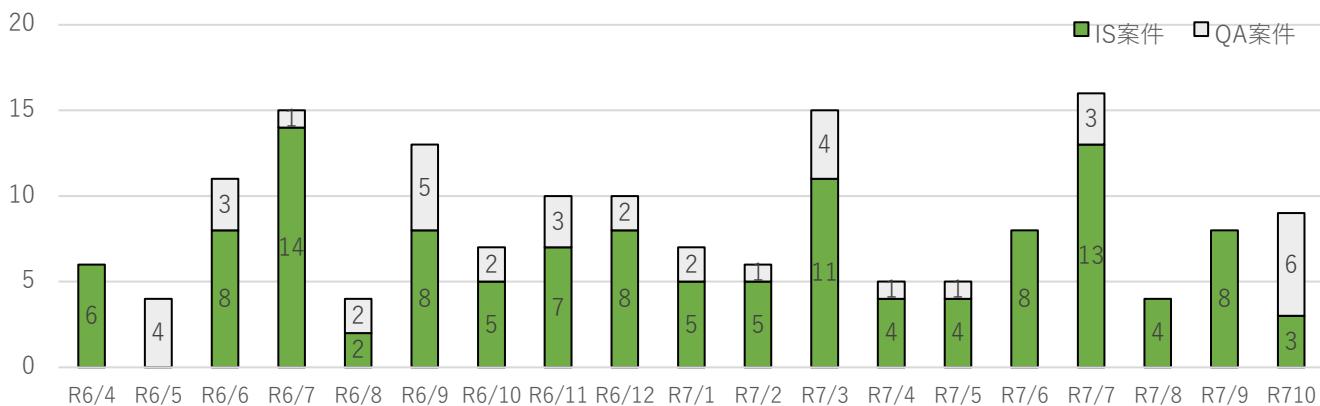


相談内容に応じて、「QA (Quick Action) 案件※2」と「IS (Incubation Seeds) 案件※3」に大別し、各公設試や産総研をはじめとした外部連携機関の知見も得ながら、きめ細やかに対応しております。引き続き、企業ニーズに応える事業化支援に邁進して参ります。

※2 設備利用等、相談者が早急な対応・課題解決を求めている案件

※3 新製品の企画・開発等、中長期的な対応を要する相談案件

R6(2024)年4月からR7(2025)年10月31日までの相談受付実績



～事務局便り～

例年にも増して寒暖の差が大きい日々が続き、インフルエンザ等も蔓延しつつあるとのニュースもあります。とくに体調管理には気をつけたいものです。さて、当PF事業は2022年11月に開始し、4年目に入りました。この3年間、関係機関の皆様の多大なご支援により、相談件数も順調に伸びており、加えて顧客満足度（大変満足 + 満足）も約90%になっています。当PF活動は、極めてユニークな広域連携事例として国の政策のモデルとしても注目されている状況です。

一方では、いくつかの課題も見えてきております。特に、事業の最前線にたって相談者に寄り添って丁寧な対応をするコーディネータ体制の強化です。中でも、相談件数が多い有機材料を含む化学系と、半導体関連技術に精通する人材が不足しています。また、関西広域の大学発ベンチャー支援などについても、現状は十分ではないとも認識しています。

このような課題については、関係機関・皆様の更なるご支援を頂戴しながら改善を図って行きたいと思います。そのためにも、「小さな相談、大きなチャンス」の実現と「集団脳と開発現場力」の実践という初心に立ち戻り、事務局一同さらに頑張ってまいります。

公設試発！News

「ジャパン・テキスタイル・コンテスト2025」優秀賞受賞

京都府織物・機械金属振興センター

当センターが開発した素材「漂うリネン」が、ジャパン・テキスタイルコンテスト2025の優秀賞を受賞しました。丹後ちりめんの風合いを生み出す伝統技術である「八丁撚糸」により実現させた薄く軽い生糸の織物中に、リネンを漂わせ、エアリー感を表現した素材となっています。

本受賞を契機に、欧州インテリア市場における京都の織物の用途・市場拡大及び実用化を目指します。



※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.pref.kyoto.jp/t-ki-somu/press/documents/r071029-orikin.pdf>

KYOTO DESIGN WORK SHOW -ものづくり企業とデザインのマッチング-

京都府中小企業技術センター

例えば自社製品を開発されるにあたって、デザイナーの力を借りようかと考えられたことはありませんか。経営者の方々に、デザイナーさんたちと実際にお話しいただき、まずは距離を縮めていただこうというのがこの催しです。彼らがどんな考え方でメーカーと一緒に仕事をされているのかを知り、自社で考えているプロジェクトに加わってもらってそれを進めることができ実際に可能なのかを検討し進めていく、その契機としていただければ幸いです。

今回は6社のデザイン企業がそれぞれのお仕事例を展示されて、皆さまのお越しを待っておられます。ぜひこの機会をご活用ください。

会期：令和8年2月18日(水)～19日(木)10:00～17:00

場所：京都パルスプラザ（京都府総合見本市会館）

〔京都ビジネス交流フェア2026〕大展示場 特設ブース



※詳しくは以下をご覧ください。

https://www.kptc.jp/gijutsushien/kyoto_design_work_show2026/

2025年度「Castings of the Year賞」を受賞しました

兵庫県立工業技術センター

当センターが取り組んだ「身体適合型自転車フレームのカスタムメイドデザイン」プロジェクトにおいて、(株)コイワイ様の協力により試作した自転車フレーム（鋳造品）が、公益社団法人 日本铸造工学会主催の2025年度「Castings of the Year賞」を受賞しました。

同賞は、铸造分野の研究開発に携わる技術者の意欲向上と、業界全体の活性化を目的として設けられたものです。公的支援機関による受賞は今回が初めてであり、高く評価された形となりました。



※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.hyogo-kg.jp/research/item3478>

令和7年度 産業技術センター活動成果発表会

鳥取県産業技術センター

企業の皆さんに産業技術センターの活動を知っていただき “もっと”ご活用していただくために、「活動成果発表会」を開催し当センターの研究成果、人材育成、技術支援の事例を紹介します。

昨年度に引き続き、時間に縛られず、何度も聴講いただけるよう、発表動画を一定期間配信する方式で、開催します。異分野の技術にも課題解決のヒントが隠されているかもしれません。ご都合が良い時間にご覧ください。

開催概要

- 開催期間：令和7年12月10日（水）～令和8年1月8日（木）
- 開催方法：インターネットによる動画配信
- 参加費用：無料（参加申込み必要）
- 申込期限：令和7年12月25日（木）

発表内容

- ①電子・有機素材研究所（鳥取市）：
X線装置による非破壊解析、DXPoTによる工場の見える化、OR-Toolによる生産計画の自動生成、CLTの耐候性評価、キチンナノファイバーと樹脂の複合化
- ②機械素材研究所（米子市）：
ロボットハンドの開発、シミュレーションによる課題解決、デジタルものづくり機器、塑性加工注目技術、分析機器・試験機による品質管理
- ③食品開発研究所（境港市）：
フレイル予防食品開発、ウニの身溶け防止、洗浄工程の省力化、鳥取オリジナル酵母、未利用食材によるアップサイクル食品開発

※詳しくは以下をご覧ください。

https://tiit.or.jp/3202/5450/r7_houkokukai/